

蜷川地区が「豊かなむらづくり」 農林水産大臣賞を受賞

廃校となった旧蜷川小学校を利用して、地元食材を使った商品作りや、町内外からの自然体験や宿泊の受け入れなどを、地域をあげて取り組んでいる蜷川地区が10月23日、中国四国農政局(岡山県)で行われた「豊かなむらづくり」表彰式で農林水産大臣賞を受賞しました。

蜷川地区では、平成14年に高知国体選手らの宿泊を廃校校舎で受け入れたことをきっかけに、活動グループ「であいの里」が結成されました。

地元のお母さんたちを中心に、町内イベントでの文旦シヤベットの販売やクリスマスケーキの受注販売などを主な活動として取り組まれる中、平成16年度には、蜷川小学校を活用して地区全体での地域づくりに取り組みもうと、地元の方々が集まり話し合いを重ね「蜷川地区地域づくり計画」が作られました。そして、平成19年度、地区総会で「であいの里 蜷川」が誕生しました。校舎の一部を改修し、体制を整え、町外からの修学旅行や5月の連休や夏休み中の

旅行者、地元での冠婚葬祭時の親戚の方々など、年間延べ約350人の宿泊を受け入れて

います。宿泊の予約が入ると、まず地域の女性陣が一同に集まり、当番や食事のメニューを決定します。その他、準備や力仕事が必要な時には、区長や副区長、16人の議員(蜷川地区では地区役員のこと)を議員としよう(そう)です)もいっしょに行います。団体の宿泊客や小学生への自然体験メニューの受け入れでは、地域の方々総出で学校に集まること

もあるそうです。「であいの里 蜷川」での喫茶や地域の一人暮らしの高齢者へのお弁当宅配を兼ねた販売、体験メニューの拡充なども考えており、今後の活動を目を離せない蜷川地区です。



ますます活発になりそうな蜷川地区の活動。本当に楽しみです!

かきせ川地域協議会 昔ながらの原風景「山焼き」 復活・馬荷冷泉宅配します

馬荷冷泉や七立栗、郷土料理の伝承などの活動に取り組むかきせ川地域(馬荷・大方橋川・御坊畑地区)では、昔ながらの原風景を復活させようと、昨年11月から約1カ月かけて、県道岡本大方線(馬荷地区)途中にある西ゾリ山の木を伐採しました。



3月のつつじ祭といっしょに山焼きを予定しています。

また、馬荷冷泉を町内の方々に自宅で楽しんでもらおうと冷泉宅配の試行運転が始まりました。(700円/200リットル・2月末まで)本格的な温泉を気軽に楽しめると好評を得ているようです。

○予約・お問い合わせ

馬荷温泉配達チーム(福留)
☎090-11008-2931

第4回黒潮町小学生俳句大会 が行われました

子どもたちに俳句づくりの楽しさを知ってもらおうと、うたの道づくりの会(会長小野義廣)が行う黒潮町小学生俳句大会が行われました。

町内の小学校の子どもたち143人から、秋の季節を感じられる感性豊かな作品が計385句も応募され、11月14日には入賞者14人への表彰式が行われました。

入選作品(14点)は2月まで、佳作作品(14点)は2月から3月頃まで(予定)、同公園内の「うたの柱」に掲示されます。



入賞者のみなさん、おめでとうございます。来年もステキな作品を期待しています!

※入賞作品は、黒潮町議会だより「小袖貝」で紹介されます。

情報通信基盤整備事業

幹線伝送路の整備が始まりました。

田ノ口~拳ノ川まで(国道沿い)の既存の電柱へ光ケーブルを共架、また自営柱建設を実施しています。工事中はご迷惑をおかけしますがご協力をお願いします。

本庁総務課情報推進係 ☎43-2188(直通)

幡多・マーケット「海辺の日曜日」

http://blogs.yahoo.co.jp/hm_umibe

【第3回】1月10日(日)

【第4回】2月14日(日)

場所: 土佐西南大規模公園
海のバザール 駐車場

時間: 午前9時~午後3時

【問】本庁総務課企画振興係 ☎43-2177

※広報くろしお12月号4ページ「まちのできごと」記事中、海辺の日曜市の日程は誤りでしたのでお詫びいたします。

